

行財政改革について

町有地の有効利用について

町教育で町づくりをするより、町有地を宅地にして安く売る方が人口を増やせると思います。坪3万円ほどで売却すれば、町に家を建てて移り住む人が増え、税収増も見込めると思いますが、

不能欠損処理について

町 不能欠損処理が財政悪化を招いています。支払う人が損をするようになると、払わない人が増えるのでは。

答 不能欠損処理をしないことが大原則です。不能欠損処理をせずに徴収する方法で、工夫をしながら、また誠意を持って取り組みたいと思っています。

滞納問題に関する職員の体制について

町 町長は「私を含め管理職も一緒に頑張って徴収する」と言われ、以前の新聞発表では「町が一丸となって取り組む」と述べていました。しかし今、そのような体質・体制なのか非常に疑わしい。役場職員は緊張感がありません。滞納問題については職員の体質改善が必要だと思いますが、見解をお願いします。

答 これは一人一人の職員、特に徴収業務の担当職員全員が緊張感を持ち、滞納は全て一掃するという意識を持た

教育について

学校図書職員について

町 各小中学校8校への図書係配置は、財政難の折に必要でしょうか。本を読むことは賛成ですが、職員配置以外にも方法があるのではないのでしょうか。

答 財政の縮減は第一前提です。読書効果はすぐには現れませんが、この人材育成の経費を将来、2倍、3倍の効果で反映するために今取り組んでいます。

また、読書ボランティアなどの呼びかけもしながら、効率的な方向で取り組みますので、ご理解をお願いします。

就学前教育の充実について

町 町長は教育行政経験者ですが、学校教育では既に手遅れだと感じます。保育園、幼稚園の子ども達は既に色々な問題を抱えています。就学前教育からもっと力を入れたい、学校全体が変わらないと思いません。

答 これはまさに、私が教育長時代から絶対にやらなくてはならないと思っていた事です。就学前教育は今後ますます重要です。現場の活動も十分見据えながら、充実を図りたいと思います。

産業振興について

観光のまちづくりについて

町 観光をはじめ起業、企業誘致、と言っていますが、何を主体にしていくのですか。町の方針を教えてください。

なければなりません。そのような指導はしていますが、残念ながらまだ十分ではないかも知れません。みなさんから理解を得られない状況が続けば、ますます滞納は増えてくると思います。つまり、我々の取り組む姿勢次第だと思います。今後とも職員に意志の徹底をしていきたいと思っています。

滞納問題に対する専門課新設について

町 責任の所在を明確にしないと解決に向けて進まないと思います。滞納問題は特別徴収課などを設け、それ一本で専門に取り組むことを考えてほしい。

使用料や税金の徴収に携わる課は多岐にわたります。特別徴収課という特定をすれば、担当職員だけがやれば良いという意識がどうしても生じます。福智町の全職員が町づくりのために滞納問題を解決すべきという意識を持って、解消に向けての大きな力になると思っています。創意工夫しながら、一体的に努力していきたいと思っています。

広告による財源確保について

町 北九州市などはごみ袋に広告が入っています。実際、同じような大きさで安く買えます。そのような広告で、住民負担を軽減する考えはありますか。

答 企業広告で収入を得る方法については、私も色々打診しています。ただ直方市が行った場合に、直方市の人口でさえ企業がメリットがないと判断され、取りやめたそうです。何か良い方法がないか今後も検討していきます。

19年度の予算について

町 失業対策事業費や普通建設事業費の

町 観光促進委員会」を6月に立ち上げ、11月末を目途に答申をいただきたいと思っています。これと連動して、昨年8月に立ち上げた「まちづくり審議会」の中でも、観光の視点の答申を8月末までにいただくようになっています。これらの答申を待って、今後のタウンミーティングで具体的に報告する予定です。

農業政策について

町 町長は「農業による町おこし」と言われていましたが、実際は難しいと思えます。派手な活躍は期待できません。地道な努力の積み重ねだと考えます。

答 実際に農家、農業に関わっているかたに対し行政が手助けできること、共にやるものは何か...そういったお互いの情報交換、意思の疎通がこれまでに以上に必要だと思います。農業関係者と十分意見を交わし、よりよい環境づくりに向けて進めたいと思います。

企業誘致について

町 福智町では、どれくらいの規模の企業を誘致できるのですか。

答 トヨタのような大企業を誘致できる敷地はありません。旧赤池町の工業団地に2区画(約33坪)と、旧方城町の迫地区の工業団地があります。また旧金田町の売れ残った住宅分譲地を用途変更できれば、さらに企業誘致が可能ではないかと考えています。

雇用問題について

町 雇用の件で起業をする話がありましたが、ほかにも手を打っていることはありますか。雇用問題については早急に対応してください。

投資的経費ですが、18年度は予算の33.1%ほど、今年度は23%ほどになっています。中間市は4.9%ほど、宮若市も8%ほどですが、なぜ福智町はこんなに予算に占める割合が高いのですか。

19年度の事業費の割合が高い理由について

町 19年度は事業費の中で、合併後も継続して行うと決定した事業もあることから、ほかの自治体と比べ大きな比重を占めていると思います。19年度は特にそれらを見直しながら更なる節減に向けて、20年度以降の予算編成に生かせるようにしたいと思います。

19年度赤池の診療所の経営について

町 赤池の診療所は、噂では1か月に約2千万円、年間では約2億4千万円の赤字が出ていると聞きました。赤字をどう解消していくのですか。

使用料や手数料について

町 今後使用料や手数料などで収入を上げるということを考えていますか。

答 住民のみなさんに負担をかける前に、最大限私達がやれることをやり、それでも協力がなければならぬ状況になれば、値上げ等のご相談をすることになると思います。ただ現在は、値上げなどで増収を図る事は考えていません。

町 これは今日言っただけで明日からできるというのは不可能です。ただ雇用も非常に大事な町づくり、町の安定化に向けての要素です。起業や誘致で雇用を生み出せるかについて、近いうちに具体的な結論を出し、早く雇用効果を発揮できるようにしたいと思います。

その他

ホームページについて

町 ホームページの情報が少なく、福智町をうまくPRできていないと思えます。また、旧3町の過去のデータを見たいのですが一切閲覧できません。

答 本年度中にホームページをリニューアルする予定です。色々なご意見を参考にしながら、より多くの情報を発信できるように構築したいと思います。

行政区の統合について

町 方城地区の行政区は現在39行政区ありますが、昨年の区長会議で15くらいにまとめる話をしたと思います。その話はごまかして進んでいますか。

答 現状は進んでいません。代表の区長が決まり次第、代表区長会議を早急に開き、その中で私から提案させていただきたいと思っています。

地域住民の要望について

町 旧町の時も地域の要望は区長を通してでないと受け付けてもらえなかった。今でもそうであれば、それを住民に理解してもらった方がいいと思います。答 まさにそのとおりだと思います。な



地域での要望をまとめて区会を通すのが、もう一つの目的は、町づくりのための大きな土台づくりです。区の中の組に参加しない人が多いことが、地域づくりの大きな弱点になりつつあります。お互いが連携を取り合い、地域が一丸となるためにも、地域の声は区会、区長を通して要望していただく環境を広く理解していただきたいと思っています。

保健センターの管理について

町 いま方城保健センターには町職員が一人もいません。体操教室などに行くときは、診療所で鍵を借りて開け、終わるとまた鍵をかけ、診療所にお返ししています。その時間帯だけいいの町職員を置いてもらいたいのですが、